

あとがき

本プログラムの特徴は、第1に、社会的スキルの育成を教育課程に位置づけることができることにあります。子どもの社会的スキルは、日々生活する社会のなかで、様々なふれあい体験を通して獲得していくものです。そこで、社会的スキルの育成は学校生活の様々な学習や活動場面、つまり、教育課程の中で意図的・計画的に行われる必要があります。この度、提示しました横浜プログラムでは、教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間などでこれまでに学校が実践を重ねて蓄積してきた指導事例を参考にして、クロスカリキュラムとして活用できる具体的なプログラムとして開発してまいりました。

第2は、子どもの社会的スキルの育成状況の分析から、必要な指導プログラムの開発を進めてきたことです。「自分づくり」、「仲間づくり」、「集団づくり」の3つのアプローチの視点から子どもたちの発達課題の積み残しを補充し、18の基本スキルの育成を図る構成となっています。

第3は、グループ・アプローチ・プログラムの実践と個人や学級のアセスメントを組み合わせ、実効ある指導プログラムとなるよう工夫していることです。個人や学級集団のどこに課題があり、その成長・改善の手立てとしてどのようなプログラムを実施していくか、アセスメントとプログラムの関連を図りながら、学校や子どもの実態にあった教育実践をしていくことが大切です。

いま、いじめ・暴力行為や不登校などの背景として、子どもたちの規範意識や自己統制など心のありようが大きな課題となっています。子どもは、自分が生活する社会の中で、様々な人との相互関係の中で、ものの見方や考え方などを通して「自分や他者、集団との望ましい関係を創出し維持するために必要な基本的スキル」を身に付けていくものです。

各学校においては、本プログラムを活用して、すべての教育活動を通して、子どもたちの豊かな心の育成や社会性の涵養に努めていただくとともに、本プログラムを学校や子どもの様子等の実態に合わせて、創意工夫し改編・改善して活用いただくようお願いします。

最後になりますが、平成19年1月に子どもの社会的スキル横浜プログラム作成検討委員会が発足し、子どもたちの年齢相応の社会性を育てるための指導プログラムの検討を重ねて参りました。また、平成20年6月に子どもの社会的スキルアセスメント検討委員会が発足し、Y-Pアセスメント及び指導プログラムの増補改訂に検討を重ねて来ました。この間、帝京大学の岡田守弘先生・横浜国立大学犬塚文雄先生・東海大学芳川玲子先生をはじめ、検討委員の皆様には、数多くの検討委員会・編集会議等にご出席いただき、“横浜プログラム”（グループ・アプローチ・プログラム）の及びY-Pアセスメントの開発・改訂にご尽力いただきました。検討委員・研究協力校の皆様には大きなご負担をおかけすることになりました。大変ありがとうございました。深く感謝申し上げます。

また、プログラム開発にあたっては、これまでの取組や実践例を資料として提供いただいた学校や、Y-Pアセスメントシート活用の支援検討会や社会的スキル尺度作成・改訂のための予備調査にご協力いただいた学校も多数あります。厚くお礼申し上げます。

なお、本プログラムの開発にあたっては、大和市教育研究所、神奈川県教育委員会、大阪市教育委員会、埼玉県教育心理・教育相談研究会、品川区教育委員会の資料を参考とさせていただき、貴重なご教示をいただきました。あわせて、神奈川県立保健福祉大学の小林正稔先生から資料提供やアドバイスをいただき参考にさせていただきました。深く感謝申し上げます。

平成21年3月

小中学校教育課児童・生徒指導担当

参考・引用文献

- 相川充・小林正幸編「ソーシャルスキル教育で子どもが変わる小学校」(図書文化、1999年)
- 相川充・佐藤正二編「実践ソーシャルスキル教育 中学校」(図書文化 2006年)
- 犬塚文雄「教育カウンセリング」(福音社 2000年)
- 犬塚文雄「社会性と個性を育てる毎日の生徒指導」(図書文化 2006年)
- 伊藤博・河津雄介編「感性開発ゲーム」(明治図書 1982年)
- 大阪府教育委員会「こどもエンパワメント支援指導事例集」(2005年)
- 大竹直子「教室で保健室で相談室ですぐに使える!とじ込み式自己表現ワークシート」(図書文化、2005年)
- 岡田弘ほか「エンカウンターで学校が変わる 小学校編」(図書文化 1996年)
- 神奈川県教育委員会「豊かな人間関係プログラム」(2005年)
- 神奈川県警察本部生活安全総務課「防犯のポイント」(県警本部ホームページ 2007年)
- 神奈川県警察本部生活安全総務課「インターネットと掲示板での誹謗中傷事案対応マニュアル」(2006年)
- 河村茂雄「グループ体験による タイプ別学級編成プログラム 小学校編」(図書文化、2001年)
- 協創開発チーム(石毛 土井 由井 三上 鈴木 三澤)「ハートフル」2008年
- 久保昌子他「健康教育イラストカット CD-ROM」「健康教育イラスト集」(東山書房、2007年)
- 國分康孝・國分久子編「エンカウンターでイキイキわくわく保健学習 小学校」(図書文化 2004年)
- 國分康孝(監修);岡田弘(編集)「エンカウンターで学級が変わる(小学校編)」(図書文化、1996年)
- 國分康孝・國分久子編「エンカウンターでイキイキわくわく保健学習 小学校」(図書文化 2007)
- 國分康孝・國分久子編「構成的グループエンカウンター事典」(図書文化 2006年)
- 國分康孝監修 押切久遠著「非行予防エクササイズ」(図書文化 2001年)
- 小宮信夫「犯罪はこの場で起こる」(光文社 2005年)
- 埼玉県教育心理・教育相談研究会「社会性を育むためのスキル教育」(2005年)
- 斎藤孝「子どもはなぜ切れるのか」(筑摩書房 1999年)
- 佐藤正二・相川充「実践ソーシャルスキル教育 小学校」(図書文化 2005年)
- 小学校特別活動研究会編 教育技術MOOK「図解 みんなが楽しむ ゲーム・集会活動」(小学館、2007年)
- 湘南グループ・アプローチ研究会「いじめ防止推進事業 Social Skill Education プログラムエクササイズ」(2006年)
- 下山晴彦「認知行動療法ワーク」(神奈川県学校心理士会研修会資料 2006年)
- 園田雅代、中釜洋子著 「子どものためのアサーション(グループワーク)ー自分も相手も大切に
する学級づくりー」(日本精神技術研究所 2000年)
- すがのたいぞう 「こころがものすごくラクになる考え方」(毎日新聞社 2003年)
- スタラード、P. 下山晴彦(監訳)「子どもと若者のための認知行動療法ワークブック」(金剛出版、2006年)
- 高橋和子「からだ一気づきの学びの人間学ー」(晃洋書房、2004年)
- 楽しい授業編集委員会編「教室の定番ゲーム」(仮説社、1995年)
- 楽しい授業編集委員会編 「教室の定番ゲーム2」(仮説社 2001年)
- 日本造形教育研究会 「えのぐのぼうけん 図画工作3・4上」(開隆堂、2007年)
- 福岡県教育センター「自尊感情を高める少人数授業の展開」(2004年)
- ポール・スタラード、下山晴彦(監訳)「子どもと若者のための認知行動療法ワークブック」(金剛出版、2006年)
- 本田恵子「きれいやすい子の理解と対応」(ほんの森出版、2002年)
- 丸山正ほか、東京都レクリエーション連盟「小学校の室内ゲーム」(成美堂出版 1983年)
- 皆川興栄「ライフスキルの基礎基本」(明治図書 2005年)

皆川興栄「総合学習でするライフスキルトレーニング」(明治図書 1999年)

M・M・サルト 宇野和美(訳) カルメン・オンドサバル+新田啓子(監修)「読書へのアニメーション75の作戦」(柏書房、2001年)

水谷拓也・大漁博子「児童・生徒の包括的社会的スキル尺度の作成—自分づくり及び仲間・集団づくりの視点から」
(日本学校心理士会発表論文集 2008年)

水谷拓也・岡田守弘「集团的社会的スキル訓練が児童および学校集団に及ぼす効果の検討」(横浜国大教育人間科学部
紀要2007年)

村山正治・増井武士他「フォーカシングの理論と実際」(福村出版 1984年)

諸富祥彦・尾高正造・土田雄一「『心のノート』とエンカウンターで進める道徳」(明治図書 2004年)

諸富祥彦他「エンカウンターで学級づくりスタートダッシュ 小学校編」(図書文化 2001年)

文部省「小学校学習指導要領解説 特別活動編」(1999年)

文部省「中学校学習指導要領解説 特別活動編」(1999年)

大和市教育研究所「グループサポートプログラム」(2004年)

横浜市教育委員会「防犯チェックシート」(2006年)

横浜市教育委員会「子どもたちの豊かな成長を支える新たな児童・生徒指導を展望して」(2002年)

横浜市教育委員会「児童・生徒指導上の諸問題緊急対策プロジェクト報告書」(2005年)

横浜市教育委員会「自分らしく自分自身になれ～生きる力をはぐくむ心の健康教育プログラム」(2001年)

横浜市教育委員会「小学校教育課程編成の指針 特別活動」(2001年)

横浜市教育委員会「不登校の理解と指導のために」(2000年)

「表情ポスター・カード」(クリエーションアカデミー、2003年)

横浜市学校 GWT 研究会「協力すれば何かが変わる—続・学校グループワーク・トレーニング」(遊戯社 1994年)

横浜国立大学大学院教育学研究科「教育臨床支援実習 A」授業資料

横浜市教育委員会「子どもの社会的スキル横浜プログラム」(2007年)

平成19年度編集委員

委員長	岡田守弘	横浜国立大学教育人間科学部名誉教授
副委員長	犬塚文雄	横浜国立大学大学院教育学研究科教授
委員	岡まゆみ	横浜市立並木第一小学校長
〃	秦 繁夫	横浜市立泉が丘中学校長
〃	鈴木由香	横浜市PTA連絡協議会会長
〃	齊藤実雪	横浜市PTA連絡協議会副会長
〃	小笠原裕	平戸幼稚園
〃	渡邊英則	港北幼稚園・ゆうゆうの森幼保園
〃	久保直子	大曾根保育園
〃	大漁博子	横浜市立旭小学校教諭
〃	関谷道代	横浜市立一本松小学校教諭
〃	三橋弘康	横浜市立日枝小学校教諭
〃	伊藤 真	横浜市立新治小学校教諭
〃	中嶋孝宏	横浜市立東野中学校教諭
〃	山下義明	横浜市立みたけ台中学校教諭
〃	伊東純太	横浜市立並木中学校教諭
〃	荻原友子	横浜市立善部小学校養護教諭
〃	矢野和佳乃	横浜市立東汲沢小学校養護教諭
〃	宮崎千恵	横浜市立宮田中学校養護教諭
〃	齋藤 孝	小中学校教育課指導主事
〃	勝木 茂	小中学校教育課首席指導主事
〃	栄 秀之	授業改善支援課指導主事
〃	山川伸二	教育相談課主任指導主事
研究協力者	村田重子	横浜市立並木第一小学校教諭
〃	水谷拓也	横浜市立舞岡小学校教諭
研究協力校	横浜市立二ツ橋小学校、横浜市立並木第一小学校、横浜市立西富岡小学校	
イラスト	脇田景子	横浜市立根岸中学校教諭
〃	岩田明正	横浜市立上郷中学校教諭
	(※委員長・副委員長以下は順不同です。役職名は平成19年7月現在)	
事務局	小中学校教育課児童・生徒指導担当、総務課学校防犯・防災担当	

平成20年度編集委員

委員長	岡田守弘	帝京大学文学部教育学科教授
副委員長	犬塚文雄	横浜国立大学大学院教育学研究科教授
〃	芳川玲子	東海大学文学部心理・社会学科教授
委員	出川 進	横浜市立南小学校長
〃	伊藤 明	横浜市立洋光台第二小学校長

委員	大漁博子	横浜市立旭小学校教諭
〃	村田重子	横浜市立並木第一小学校教諭
〃	伊東純太	横浜市立吉田中学校教諭
〃	石毛 勉	横浜市立都田中学校教諭
〃	工藤祐嗣	横浜市立今宿中学校教諭
〃	板倉千鶴	横浜市立奈良の丘小学校教諭
〃	関 和子	横浜市立美しが丘小学校教諭
〃	春木俊恵	横浜市立南小学校教諭
〃	椋田美穂	横浜市立二つ橋小学校教諭
〃	山川伸二	教育相談課主任指導主事
研究協力者	水谷拓也	横浜市立舞岡小学校教諭
〃	高橋義成	横浜市立下野谷小学校教諭
〃	小川優子	横浜市立石川小学校教諭
〃	河村智子	横浜市立北山田小学校教諭
〃	宮崎里子	横浜市立伊勢山小学校教諭
〃	前田順子	横浜市立秋葉小学校教諭
〃	前原 泉	横浜市立平戸台小学校教諭
〃	前田友美子	横浜市立藤の木小学校教諭
〃	高橋ひろ子	横浜市立荏田東第一小学校教諭
〃	山崎みゆき	横浜市立下田小学校教諭
〃	沼里恵里子	横浜市立長津田小学校教諭
〃	信時加奈	横浜市立岩崎小学校養護教諭
〃	橋本英子	横浜市立峯小学校養護教諭
〃	水上 悟	横浜市立川和東小学校教諭
〃	中嶋孝宏	横浜市立東野中学校教諭
〃	秋山幸子	学校図書館支援員
〃	関口和弘	小中学校教育課指導主事
〃	間邊浩二	小中学校教育課人権教育担当指導主事
研究協力校	横浜市立美しが丘小学校、横浜市立奈良の丘小学校、横浜市立二つ橋小学校、 横浜市立南小学校、横浜市立港南台第一小学校、横浜市立桜井小学校、 横浜市立新羽中学校	
イラスト	岩田明正	横浜市立桂台中学校教諭
	(※委員長・副委員長以下は順不同です。役職名は平成21年3月現在)	
事務局	小中学校教育課 児童・生徒指導担当	

発行年月	平成 21 年 3 月
監修	岡田守弘、犬塚文雄、芳川玲子
編集・発行	横浜市教育委員会事務局